

江戸川区 中小企業の景況

令和2年7月～令和2年9月期

調査対象 製造業 162社 小売業 71社
サービス業 54社 建設業 52社

調査方法 面接聴取法

調査機関 (一社) 東京都信用金庫協会

分析作成 (株)サーベイリサーチセンター

本概要版は、令和2年9月上旬に調べた景気動向と、これから先の3か月間(令和2年10～12月期)をまとめたものです。なお、業績等についてはDI値を中心に分析しています。

※ D. I (Diffusion Indexの略)

D. I (ディーアイ) は、増加(又は「上昇」「楽」など)したと答えた企業割合から、減少(又は「下降」「苦しい」など)したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

	大きく上昇	上昇	やや上昇	横ばい	やや下降	下降	大きく下降
							
	好調 ←		普通			→ 不調	
製造業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下
小売業	10以上	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31～-40	-41以下
サービス業	15以上	14～5	4～-5	-6～-15	-16～-25	-26～-35	-36以下
建設業	20以上	19～10	9～0	-1～-10	-11～-20	-21～-30	-31以下

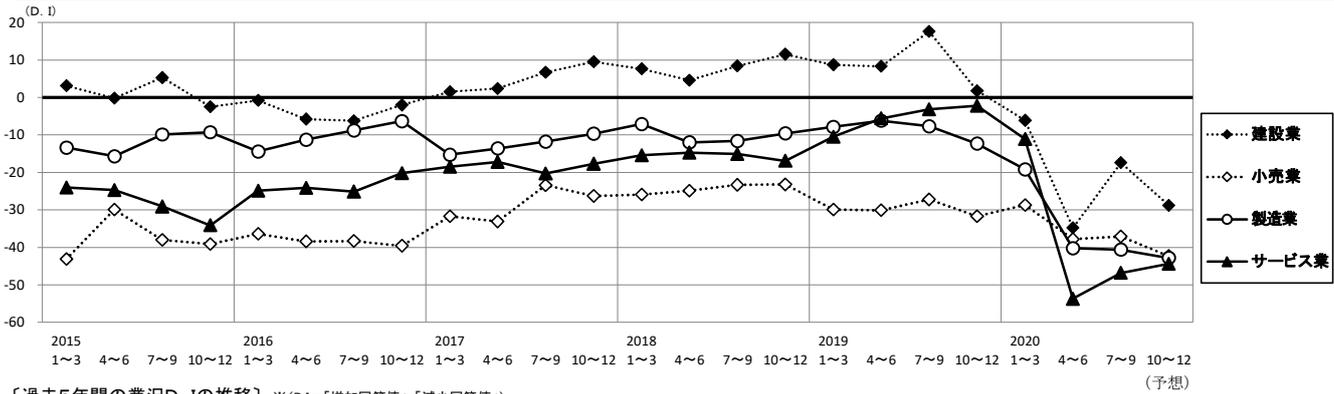
製造業	前期		-40.2	業況DI(Δ40.2→Δ40.6)は前期比0.4ポイント減少し、同様の厳しさが続きました。売上額(Δ42.0→Δ41.4)、収益(Δ41.0→Δ42.5)も前期並の減少・減益幅で推移しました。 来期の業況(Δ42.8)は悪化傾向が若干強まると見えています。売上額(Δ33.5)、収益(Δ34.1)はともに減少・減益幅がかなり改善するものの、厳しい状況が続くと予想しています。
	今期		-40.6	
	来期		-42.8	

小売業	前期		-37.8	業況DI(Δ37.8→Δ37.1)は前期同様の厳しさが続きました。売上額(Δ43.6→Δ39.9)は多少改善するものの、収益(Δ36.4→Δ40.2)は減少傾向が幾分強まりました。 来期の業況(Δ42.3)は悪化傾向が更に強まると予想しています。売上額(Δ36.5)は多少改善しますが、収益(Δ39.0)は今期並の減益傾向が続くと予想しています。
	今期		-37.1	
	来期		-42.3	

サービス業	前期		-53.7	業況DI(Δ53.7→Δ46.8)は悪化傾向がかなり弱まりましたが、厳しい状況が続いています。売上額(Δ54.5→Δ48.4)と収益(Δ56.5→Δ46.1)も減少・減益幅が幾分縮小したものの、厳しい状況が続いています。 来期の業況(Δ44.4)、売上額(Δ42.4)、収益(Δ43.3)は引き続き上向くが、厳しい状況は続くと予想しています。
	今期		-46.8	
	来期		-44.4	

建設業	前期		-34.8	業況DI(Δ34.8→Δ17.4)は厳しさがかなり和らぎました。売上額(Δ40.4→Δ21.7)、収益(Δ43.7→Δ30.0)も減少・減益傾向がかなり弱まりました。 来期の業況(Δ28.8)は厳しさが再び大きく増すと見えています。売上額(Δ28.0)、収益(Δ32.2)も再び減少・減益傾向を強めると見えています。
	今期		-17.4	
	来期		-28.8	

江戸川区の中小企業／業種別景況の推移



〔過去5年間の業況D.I.の推移〕※(D.I.=「増加回答値」-「減少回答値」)

	2015				2016				2017				2018				2019				2020			
	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12
製造業	-13.4	-15.7	-9.9	-9.3	-14.4	-11.3	-8.8	-6.3	-15.3	-13.6	-11.8	-9.7	-7.1	-12.0	-11.6	-9.6	-7.9	-6.2	-7.7	-12.3	-19.2	-40.2	-40.6	-42.8
小売業	-43.1	-29.9	-38.0	-39.1	-36.4	-38.4	-38.3	-39.6	-31.7	-33.1	-23.4	-26.3	-25.9	-24.9	-23.3	-23.2	-29.9	-30.1	-27.2	-31.7	-28.7	-37.8	-37.1	-42.3
サービス業	-24.0	-24.7	-29.1	-34.1	-24.9	-24.1	-25.1	-20.2	-18.5	-17.2	-20.3	-17.7	-15.4	-14.7	-15.1	-16.9	-10.5	-5.6	-3.2	-2.2	-11.1	-53.7	-46.8	-44.4
建設業	3.1	-0.2	5.3	-2.5	-0.8	-5.8	-6.2	-2.0	1.5	2.4	6.7	9.5	7.6	4.6	8.4	11.5	8.7	8.3	17.6	1.8	-6.1	-34.8	-17.4	-28.8

経営者から寄せられた声 (2020年7~9月)

【景況全般について】

- ・新型コロナの影響がじわじわ出ている感じで先が読めない。(製造業)
- ・7月はどん底でしたが、8月9月は徐々に回復しているように思える。(卸売業、小売業)
- ・昨年と同じくらい回復してきた。(サービス業)

【受注・売上・単価・仕事量について】

- ・前年度の売上の半分以下、かなり悪化した。9月に入り少しずつ注文が入るようになったが、まだまだ苦しい状態。(製造業)
- ・水廻りの設備関係。現状は通常に戻りつつあるが、やはり4月・5月の落ち込みが大きく、売上額を取り戻すにはまだまだかかりそう。(卸売業、小売業)
- ・コロナ影響で発注元によっては週2日出勤で、残りは在宅になっており十分に機能していないため売り上げが最悪になっている。早く収束しないと大変な事になる。(サービス業)

【経営上の課題について】

- ・休業補償と緊急融資をうけて経営の安定をはかっている。(製造業)
- ・新型コロナウイルス感染対策。(医療、福祉)

【経営改善等に向けての取組み】

- ・新製品を考えている。(製造業)
- ・建設コンサルタント業。公共事業の発注状況は例年と同程度だが、今後、市町村の発注時期にはコロナの影響が表れるものと考えている。自社のテレワーク促進、発注者との協議、営業展開などこれまでと異なったやり方を模索中。業界としては適応できる業務形態なので、これをチャンスと捉えて、促進したいと思っている。(サービス業)
- ・経費の見直しとして部品の共通化を行い絞込み、在庫の削減など、売り上げはコロナ発生直後に大きな落ち込みがあったが、現在は前年比+10%までに回復した。通期ではややプラス予定(サービス業)

江戸川区の企業倒産動向 (2020年7~9月)

江戸川区の企業倒産動向

2020年7~9月期の江戸川区の倒産件数は、前期比14.3%増の8件(前期7件)、負債総額は同75.3%減の3億87百万円(同15億68百万円)でした。

業種別にみると、件数では“宿泊業、飲食サービス業”が2件で最も多く、“建設業”と“情報通信業・運輸業”(各0件)以外の業種でそれぞれ1件ずつでした。負債総額も“宿泊業、飲食サービス業”が2億50百万円で最も多く、次いで“小売業”でした。

	前年同期 2019年7~9月		前期 2020年4~6月		今期 2020年7~9月	
	件数	負債総額	件数	負債総額	件数	負債総額
製造業	1	20	1	200	1	10
卸売業	5	1,635	1	20	1	10
小売業	1	40	1	1,281	1	30
サービス業	1	10	1	10	1	11
建設業	2	335	1	37	0	0
不動産業	0	0	0	0	1	20
情報通信業・運輸業	2	100	1	10	0	0
宿泊業、飲食サービス業	2	30	0	0	2	250
その他	1	50	1	10	1	56
合計	15	2,220	7	1,568	8	387

(単位: 件・百万円)

江戸川区 生活振興部 産業振興課 計画係

TEL: 03-5662-0525(直通) FAX: 03-5662-0812